

# 消防だより

〒292-0015 木更津市本郷2-4-31

TEL 0438-41-1286

E-mail sho-takayanagi@city.kisarazu.lg.jp

第5号 発行:令和4年8月

編集・発行/木更津市消防署高柳出張所

担当:渡邊・鈴木・添田

## 暑中お見舞い申し上げます。熱中症にご注意を！！



今年も暑い暑い夏がやってまいりました。うだるような暑さの中、皆さんいかがお過ごしでしょうか。消防署高柳出張所では、いつ発生するかわからない災害から皆さんの大切な命や財産を守るべく、日夜訓練に汗を流しているところです。さて、この季節は熱中症に気を付けて日常生活を送らなければなりません。何もしなくても暑さだけで命を失うことがあるなんて全く信じられない話ですが、この夏を無事に過ごすにはどのようにしたらいいのでしょうか。

1 喉が渇く前に水分補給 2 エアコンを上手に活用する 3 身体を冷やす 4 暑い時は無理をしない 5 外出時には帽子を着用する 6 部屋の風通しを良くする 7 涼しい場所・施設を活用する など、様々な対策が挙げられます。この季節は、具合が悪い方のお宅に伺うと必ずと言っていいほど、家の中が暑く、風通しが悪くなっています。ご年配の方の中にはエアコンの風が苦手な方もいますが、命を守る行動だと思って、エアコンをうまく使って下さい。よろしく申し上げます。

## 注意！！夏になると危険な生物の動きが活発になります。



この季節は、危険な生物も活発になりますが、私たち人間も海や山に出かけることが多くなります。その際に出くわしたくないのがスズメバチやマムシ、そしてクラゲなどです。攻撃されても痛いだけでなく、命を落とす可能性すらあるわけですからたまったものではありません。山では指定区域以外の場所に入ったり、海では危険なクラゲなどが居ない場所で遊ぶようにしましょう。もしの場合は、119番通報です。



### 編集後記

冷やし中華がおいしい季節になりました。「消防だより」を発行して、すでに第5号となった今回は、日常生活で命の危険にさらされる場面を想定して記事にさせていただきました。夏は暑くてポーっとしてしてしまうことが多くなるかもしれませんが、危険な環境の中で生活している事を忘れずに楽しい夏をお過ごしいただきますようお願いいたします。



## 消防車両紹介 化学消防自動車



化学小隊が乗車する化学車には水、泡消火剤およびそれらを使って消火活動するのに必要な資機材が積載され、車両上部には放水銃を装備し、水では消火不能や困難な油火災に対し水と薬液を混合させた混合液を放水し対応します。化学小隊はそうした特殊な状況での火災に対応する部隊で、石油コンビナート火災、車両火災、航空機事故等ガソリンなどの危険物火災の最前線で活動します。また、活動場所は通常の火災現場よりも高温になりやすいため、隊員も高温にも耐えられる耐熱服を着装し活動します。

## 暑熱順化

暑熱順化とは、体が熱さに慣れることです。暑い日が続くと、体は次第に暑さに慣れて、暑さに強くなります。

気温が上がり、熱中症の危険性が高まる前に、無理のない程度に汗をかくことが大切ですが、数日暑さから遠ざかると効果が薄れてしまうと言われているので、毎日適度に汗をかく運動や入浴を心掛け、汗をかいた後は、必ず水分と適度な塩分を摂りましょう。



## ～消防団員募集～

市民の安心・安全を確保するためには、地域の皆さんの力が必要です。地域の安心・安全の守りてとして、木更津市に在住、在勤または在学する18歳以上で、健康な方の入団を心よりお待ちしております。入団希望・ご相談は消防本部警防課（0438-23-9184）まで。

## 集中豪雨や台風への備えは

できていますか？



集中豪雨は、大気の状態が不安定になり、積乱雲が発達して局地的な激しい雨を降らせる現象を言います。近年では、降雨量が多く低い場所ではあっという間に冠水してしまいます。また、近年の台風では、甚大な被害も発生していますので注意が必要です。

### 事前対策として

- ※土嚢の準備
- ※風で飛ばされるような物は室内に収納し、物置やカーポート等ではできる限り固定する。
- ※窓は鍵をかけてカーテンを閉め、網戸も外れないか確認しておく。
- ※ハザードマップを活用して、洪水や土砂災害の危険性がある場所を確認し、避難場所を決めておく。
- ※停電や断水に備え、照明器具や飲料水、食料品を確保し、衣類等を入れた避難用バッグを準備しておく。
- ※防災行政無線や安心安全メールの情報に注意し、早めの避難を心掛けましょう。

